

(別紙4(2)) 目標達成計画

事業所名 グループホーム 三和の邑

作成日 平成27年 1月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	不用意な言葉かけに対しては具体的に話し合いを行っていない。職員によっては、その場で注意もしにくいという声もある。	職員全員の意見を反映し一人一人が身体拘束の意識をしっかりとって利用者の尊厳の保持を図る。	気になる事がある時はその場で伝える。又、それが出来なかった時は、会議などでケアの振り返りとして話し合う。	6ヶ月
2	10	利用者においては、ほぼ言いたい事は言われていると思うが中にはあまり言わない方もいる。家族においては、言いづらい点を抱えている方もいると雰囲気を感じる。	意見を気軽に言える雰囲気を作り利用者、家族の相談の場としての機能を持つ。	家族会や行事、面会時等、職員全員が必ず一言、話しかける様にし関係づくりを行う。得た情報の共有を図り職員間で話し合い家族の思いを理解し改善を行う。	6ヶ月
3	49	個別の外出支援が昨年に比べて出来ていない。ちょっとした時間を見つけての工夫が必要な点がある。	利用者の行きたい場所、やりたい事を実現する。施設が心地よい場所であると感じていただく。	利用者の想いを把握し月に2度は個別支援、個別外出を行う様に計画を立てる。日の当たりの良い場所へ誘導等、職員一人一人が細かな心配りを行う。	6ヶ月
4	35	昨年に比べ防災訓練の回数が減っている。地域の協力体制づくりは行えていない。	職員一人一人が避難訓練の知識、方法を緊急時に身に付け対応出来る様にする。地域の協力体制作りを行う。	場面を想定したミニ防災訓練など回数を増やし2か月に1回は行う様にする。年に1度は地域の消防団に立ち会ってもらい施設内の間取りなどを把握していただく。	6ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。